

平成 29 年 5 月 23 日

自由民主党幹事長代理  
林幹雄様

特定非営利活動法人日本失語症協議会  
理事長 八島 三男

前略 取り急ぎ要件のみにて失礼いたします。平成 29 年 4 月 29 日、千葉・香取市の「佐原の山車行事」がユネスコ世界形文化遺産に登録されたことを祝うイベントでの、林様の

「今、歯の治療中でございます、お聞き苦しいところがあるかと思えますけれども、ご容赦をいただきたいと存じます」と声のかすれの原因を説明した上で、「決して脳梗塞ではありません。」

というご発言に NPO 法人日本失語症協議会として、大変遺憾に思い強く抗議をさせていただきます。

日本全国に脳梗塞に罹患した人は厚労省調べで約 150 万人、実数は約 280 万人もいるといわれています。その後の後遺症の身体麻痺や失語症・高次脳機能障害をお持ちで、今なお不自由な社会生活を送っている方々も多くおられます。

脳梗塞患者の 30%は失語症の後遺症をもったまま病院から在宅に返されます。リハビリの機会も十分に与えられない儘です。失語症のある方々は日本全国 50 万人超といわれます。失語症のある方々は家庭生活のみならず社会参加、就労・就学等、当たり前前の生活をする事さえ困難な方がたくさんおられます。林様はそのような現状をご認識でいらっしゃいますか。そのような方々が疾病や障害状態の話題で笑いを誘うようなこの林様のご発言を聞かれて、どのように思われるかご想像がつきますでしょうか。

障害や疾病や事故等々に遭われた人々とそのご家族が苦しんだり、悩んだりしていることを笑いのネタにするようなことはどなたであろうと、断じて許されるものではありません。先生のお心の背景に、人の痛みや苦しみ、そのご家族のご苦労、弱者への思いやり、すべての方々とインクルーシブな差別の無い社会・世界を構築していく、といった基本的な姿勢をうかがい知ることができません。国民の代表である国会議員としてのご発言とは思えません。

日本失語症協議会として強く抗議をいたします。また、先生のこのご発言を聞いて相好を崩したがたがたも反省をしていただきたいと存じます。

不一

特定非営利活動法人日本失語症協議会  
事務局長・副理事長 園田尚美  
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5-14-5-405  
☎03-5335-9756 fax03-5335-9757  
e-mail:sonoda@japc.info